

都島だより

発行責任者

笹治 博司

〒182-0033  
東京都調布市富士見町2-16-23 E-213  
TEL 042-485-0446



関東浪速工業会 会報 2008年(平成20年)5月 第37号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056  
横浜市港南区野庭町696-6  
TEL.045-841-8885  
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

題字デザイン 岡田宏三

NEWS37号

関東浪速工業会・現在会員数◆合計552名

◆M・機械113名、ME・機械電気22名◆A・建築99名◆E・電気・電子工学170名◆C・土木・都市工学49名◆C I・工業化学・理数57名◆L・普通12名◆工専20名

平成二十年度  
関東浪速工業会会長ご挨拶



E 36 笹治 博司

新緑の候、関東浪速工業会々員の皆様方におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。この度一月の総会に於きまして会長職をお任せつかりました電気科三十六卒の笹治です。微力では有りますが全力投球で頑張つて参りますので一年間宜しくご指導、ご協力をお願い致します。さて、この会は会員みな様の親睦を図ることを主としております。今日まで各科代表幹事の知恵と汗を流しての熱心な努力により企画に当られ運営されて来て居ります。これも会員皆様方のご協力の賜物と心より感謝致しております。今後より一層魅力ある会にして行くよう行事(一泊懇親会、春・秋ゴルフコンペ、Mニュース発行、見学会又は納涼会、観劇会、総会等計画策定をして会員のみな様の親睦を図つて参りたいと考えております。昨年度は創立百周年を迎えました。この輝かしい歴史ある名に恥じない様に、この会も永続的な発展へと繋げる為にも、引き続き新たな先輩、後輩方々をお手紙等々にてお誘いして参りたいと思っております。新しい会員皆様方の積極的なご参画をお願い致します。終わりに昨年よりの食材の偽装、サブプライムによる経済不安、原油価格の高騰、チベット騒乱等々暗い話題が続いておりますが、八月に北京で開催されますオリンピックが引き金となり社会が好転する事を期待したいものです。まだまだ不安定な社会環境下、皆様及びご家族の方々の「活躍」と「健康」をお祈り致します。

関東浪速工業会  
納涼屋形船へのご案内

前年ご好評で多数の参加者のあつた「納涼屋形船」の会を本年も引き続き、左記の要綱で企画致しました。御誘い合わせてご参加下さい。



事務局より

開催日時 8月7日(木) 18時00分出港し

20時30分頃帰港予定

集合時間 17時50分(雨天決行)

集合場所 屋形船・竹内 待合所

JR浜松町駅 徒歩3分

参加費用 ￥10,500円

内容 屋形船・竹内より貸切乗船。夕日に映えるレインボーブリッジや東京湾臨海部のスカイラインを楽しみながらゆつたりとしたひと時を過ごします。料理は、揚げ立て天麩羅・お刺身舟盛・サラダ・おにぎり等。参加費用の中にはビール・日本酒・焼酎・ジュース等の飲み放題が含まれております。なおご家族の方の参加も大歓迎です。申込締切 7月22日(火)

申込方法 事務局・馬江まで 科、卒年、氏名、参加人数を電話、FAX又はEメールにてお申し込み下さい。

TEL・FAX 045-841-8885

Eメール nanium@c3-net.ne.jp



集合場所

屋形船 竹内

TEL 03-3432-8648  
所在地:港区浜松町2-13-11

浪速工業会関東支部  
総会に参加して



A 46 三澤 龍夫

建築科昭和46年卒の三澤と申します。都工在学中はサッカー部中心の高校生活でした。大学浪人中に東京へ出て来て、現在は神奈川県の大磯町で暮らしております。関東での生活がもう三十七年ほどになりました。その間、母校や浪速工業会には全く無沙汰しており、申し訳ありませんでした。大学卒業後、絵を描くかたわら、絵画教室を主宰し、高校などで美術指導を行い、大磯の町議会議員や、町長も経験させてもらい、現在も議員として活動しております。仕事の関係でも卒業生の皆様と交わることがなく、母校・都工が遠い存在でしたが、今回ふと浪速工業会関東支部の総会に出席してみようと思ひ立ち、多くの先輩、後輩と親しく話をさせて頂き、一歩足を踏み出すことで、新しい世界、懐かしい世界が広がる楽しい時を持てました。多くの思い出や時間を共有する方々と接することの素晴らしさを、これからも大切にしていきたいと思ひます。来年また皆様とお会いできることを今から楽しみにしています。



H20.1.30 平成19年度総会  
新宿住友ビル47F・住友クラブにて

## 母校空襲罹災の記



M21 金田 龍之介

(昭和二十年六月七日)  
「四十四年目の役者」より抄録

M21大前号からの続き

私は近眼であるから受験できないものと諦めていたが、陸軍経理学校と海軍経理学校は視力0.3まで受験できるといふ。合格する自信

はひとつもなかったが「まあええ、受けてみられ」と、願書を取りに大阪城内にある師団司令部へ行った。そして、そこで願書を作成し、それを持って南海電車に乗って、帝塚山学院に行った。初めて帝塚山学院に入ってしまったのであったが、そこで(願書受付の窓口があった。臨時の出張所になっていた)手続きを済ませて、合格するあても無いのに、もう陸軍経理学校生徒みたいに緊張して、通用門を出て来た。陸経の身体検査を受けよ、と通知が来たので知覧良昭も一緒に行った。借行社であった。白い前掛けのような、種一本で整列して検査を受けた。検査表を封筒に丸めて持っていて、下士官に叱られた。「まいてはいかん！」と怖い顔をしてにらみつけた。不合格であったが、これが二十五年もたつてから役に立った。NHKのテレビドラマ「流れ雲」で主人公松風軒鳳童が、徴兵検査を受ける場面に参考になった。

二十年六月二十九日の深夜、岡山大空襲があった。近所の人は、大変あわてたらしいが、父は大阪での経験を生かして、屋根に上がって火たたき棒で、降りかかる火の粉を払って奮戦した。岡山市内から一里近くはなれ、直接の猛烈な空襲ではなかったが、岡山城も焼け落ち、私が大阪から、かついで来たミシンの頭も、市内のミシン屋に修理に出してあったのが、空襲に二度もあつて、とけてしまった。

俳優 金田 龍之介氏 M21卒のホームページのURLです

www.geocities.jp/kinryu\_doozi/

級友の由良玉太郎君と入谷健君が予科練に入隊することになった。その出発の日も近づいて来た頃、由良君のご両親が知覧良昭と私を、家へ下宿させてくださる事になった。由良君は一人息子で、由良君が征ってしまうと夫婦だけになってしまうので、家へ来るように言っただけだったので、

由良君の家は、今市という所で、六月七日の空襲で、焼け野原となった私達の高倉町という町から五軒くらいしか離れていなかった。由良君の家へ行ってみて驚いたのが、一人息子というものは、ご両親が王子様のようにかわいがっている彼を見て、へエーと思った。その玉太郎君が予科練に征ってしまうのだから、さぞかしつらい思いをなさった事であろう。朝も一緒に食事して、由良君はサラッサラッとすませる。私と知覧はゆつくり食べている。お父さんは息子の顔をチラッと見て

「玉、もう一ぱいどや」という、由良君は怒ったような声で

「いらん」と短く言う。一緒に

「行って来ます」と家を出て、ひとつ辻を曲がった辺りで、やつと由良君はいつもの、私達仲間の間で見せるニコニコ顔に戻って、はしゃいだりして道を歩いた。

彼と入谷君が出発する夜、大阪駅まで送って行って、陣を作って応援歌を歌い、三三七拍子をうったりして彼らを激励したが、この夜は大変な人数で、大阪駅東口の広場はドドドという地鳴りと、ウオンウオンという、うなり声に満ちていた。どれだけの中学生が予科練に入隊したのか、それは真つ暗な中で巨大な渦巻きであった。そして東口の方へ入っていく所に木の棚が作られていて、喧ましい怒鳴り声を上げて、憲兵が走り回っていた。由良も入谷も、その木の棚の中へ入って行くと、もうお別れなの

だ。どんな勢いをつけ、笑い顔を浮かべてその中へみんなすべり込んで行く。由良も入谷も敬礼して、その中へ今入って行くこうとしている。「行ってきます！」

「頑張れ！」

「しつかりやれよ！」

やがて彼らは木の棚の中へと走って行った。

「おばさん、こつちこつち！」

とお母さんの手を引いて棚の間からぞいだ。裸電球の明かりの下で、由良玉太郎君の顔が蒼白くチラッと見えて、大勢の中にまぎれて階段の方へ消えた。入隊すると大勢の学生たちと、見送りの大群衆は、渦を巻いて熱気で地響きを上げながら、移動して行った。

ある日の事、阪急百貨店の地下の何もなくなっている食品売り場を歩いていると、木のへぎの上に大きな蛙が三匹のついていた。

「食用蛙の自由販売です」

と店員が言った。私は、それを買って、今市の家へ持って帰った。

「おばさん、こなんん売ってました」

「へえ、蛙でっか」

とお母さんが私の手元をのぞき込んだ。

「食用蛙ですねん」

「へえ、どないしはるん、そなんん」

「焼いて食べられるというてましたで」

「へえ、きよく悪い」

「うまいそうですよ」

「どんな味するやろか」

これはまだ平和な時代に、師範学校に行っていた従兄に教えてもらった知識であった。お母さんに包丁とまな板を借りて、表の防火用水槽のそばへしゃがみ込んで、私は料理を始めた。

白い腹に刃を入れると、赤色をした液体がじゅぶじゅぶという感じで出て来た。頑張つて、やり終えたが、食べられそうもないとこころ、頭な

どを捨てたら、小指ほどの太股だけが、6本ちよろんと残った。

「えらいちよびつとになつてしまいましたわ」とお母さんに見せたら、

「料理しはったんやねえ、えらいねえ」とほめてくれたが、量が少なくなつたのには、笑っておられた。七厘を借りて、火をおこし、金あみを乗せ、小指ほどの太股にしょう油をつけて焼いた。「おばさん、つ食べはりまつか」と言う」と私は結構ですわ」と辞退された。

警戒警報や空襲警報は毎日出ていた。六月十日には日立市、千葉市、六月十八日、四日市市、十九日には静岡市、福岡市、二十日、豊橋、延岡、二十二日、姫路、二十八日、佐世保、二十九日、岡山、下関、七月二日、海南、四日、高松、徳島、高知、六日、甲府、九日、岐阜、十日、仙台、女川、十二日、鹿沼、宇都宮、敦賀、十四日、北海道苫小牧、室蘭、根室、釧路、青森、八戸、釜石、十五日、北海道富良野、十六日、大分、十七日、茨城県勝田、沼津、熊本県荒尾、十九日、福井、二十日、富山、福井、大津、二十一日、伊万里、二十六日、松山、二十七日、佐賀、二十九日、大垣、そして三十日、舞鶴となりいよいよ八月の原爆へと突き進む。大阪府は昭和十九年十二月十八日以来、終戦の日まで、八十一回も空襲を受けた。(毎日新聞、昭和史編集部調査)毎夜半、サイレン、ラジオによつて警報が伝えられ、由良君のご両親に起こされても、僕も知覧も、ハイ、ハイと眠ったまま返事だけして、そのまま眠っているのだった。

そんなある日のこと、読んでいた新聞に、B29を迎撃する本土防衛の若い戦闘機乗りの作つた歌が出ていた。

「大和おみなもますらをも、一日ゆつくり寝かせたい」という歌を読んだ時、グツと胸があつたもので、いっばいになるくらい、涙ぐんだ多感な中学生の私であった。(次号へつづく)

一泊懇親会報告



E 36 馬江 治喜

例年一泊懇親会を関東近辺で開催して...

今年もゴルフコンペにあわせての開催...



H20.4.20 一泊懇親会

参加者 A16藤本、A27清井、A28酒井、A38岩井...

老桜に乾杯

A 27 清井 英治

桜が散り出しました。

落花で桜並木の下が夜目にも白く光って...



桜の前でのスナップ(左が清井氏)



清井氏のイラスト

当たり前のことですが、昨夜の16人の顔とオツ...

第25・26回 浪速工業会関東支部 ゴルフコンペ報告

E 36 竹村 繁幸

第25回ゴルフコンペが平成19年11月6日(火)...



第25回 利根パークゴルフ場にて



第26回 妙義カントリークラブにて

第26回ゴルフコンペは一泊懇親会の翌日の...

# 関東青葙会活動報告 紅葉の箱根建築探訪

A57 信原 利行

平成19年11月17日(土)関東青葙会のイベントとして秋の色に染まる自然の中の建築を見る会を開催しました。

当日の朝10時に箱根湯本駅にて集合し、紅葉の山間を走る箱根登山鉄道に揺られ小涌谷にて下車。蓬萊園、千条の滝付近を散策し、近くの蕎麦屋にて昼食。その後、強羅より施設めぐりバスにて移動し、主目的であるポーラ美術館へ到着。箱根の自然と共生する素晴らしい建物を見学しました。美術館ではちょうど私の大好きな印象派画家の「モネ」展が行われており、落着きのある建物の中で風景画をじっくり鑑賞することが出来ました。

ポーラ美術館を後にしてバスで強羅まで、強羅からは箱根登山鉄道で移動しましたが、いずれも紅葉見物帰りの時間が集中した様で超満員のスシ詰め状態で大変でした。途中塔ノ沢駅で下車し「ひめしやらの湯」という日帰り温泉施設でゆっくり温泉に浸かり先程の混雑の疲れも癒され、湯上りは付属の休憩処で乾杯し恒例の懇親会となりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ箱根湯本から電車で新宿に辿り着いたのは夜10時近くになっていました。ハードな行程でしたが充実した一日でした。



蓬萊園にて



千条の滝

参加者(12名)  
C140菅家、A27清井、A28酒井、A28森田、  
A29森正信、A37森芳信、A38岩井、A44水守、  
A45高橋、A45田辺、A57西井、A57信原



ポーラ美術館

## 桂米左独演会 のお知らせ(速報)



事務局より

上方落語会で活躍中の桂米左(A59木村佳氏)の東京独演会の日程について速報が入りました。詳しい開演時間、会費等は未定ですが、ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた方には決定後に詳細案内をさせていただきます。

開催日 平成20年11月16日(日)

開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)

会費 未定

お問い合わせは 事務局・馬江まで 科、卒年、氏名、参加予定人数を電話、FAX又はEメールにてお問い合わせ下さい。

TEL・FAX 045-841-8885

Eメール nanium@c3-net.ne.jp

## MニュースのEメール での受信にご協力を

Eメールで受信して頂きますと記事中の写真などがカラーで御覧になれます。(A4サイズ4頁で約1.6MB程度のデータ量となります)経費節減(A4サイズ4頁のプリント代、送料)と發送事務省力化のためパソコンメールアドレス(携帯は不可)をお持ちの方、御協力よろしく御願致します。御協力頂けます方は、左記事務局宛メールアドレスをお知らせ下さい。※この度、事務局のメールアドレスが変更になりました。登録をされている方は変更をお願い致します。

事務局 新メールアドレス  
nanium@c3-net.ne.jp



Mニュース36号 メール版カラーサンプル

### 〇お詫び

連載中のシルク・ロード天山北路を往く・第四回(A27田中瑛也氏)は紙面レイアウトの都合上、本号には掲載することが出来ませんでした。次号以降に掲載とさせていただきます。お詫び申し上げます。

編集担当



## 関東青葙会 陶芸教室 へのお誘い

恒例の関東青葙会主催、陶芸教室を今年も陶芸家として活躍されているA46平柚木寿雄氏のご好意にて開催する事となりました。他科の皆さんの参加も大歓迎です。奮ってご参加下さい。陶芸が初めてという方も、柚木氏とスタッフの方のご指導により楽しんで取り組んでいただけます。

開催日時 9月27日(土)13時より17時30分

終了後懇親会開催

開催場所 国立市国立自由工房

会費 7,000円(懇親会費含む)

定員 二十名(定員になり次第締切)

申込締切 8月31日(日)

申込方法 卒科・氏名をFAX又はEメールにてA37森芳信まで

FAX 04-7184-8443

Eメール 3tree-yoshi@com.home.ne.jp

(集会場所等詳細は申し込み後、案内します)

次号のMニュースは平成20年11月発行予定です。



昨年の参加者とその作品

### 訃報

M10	野島 貫四郎氏	平成19年4月22日
M16	稲生 正勝氏	平成19年1月
M27	小山 不二男氏	平成19年4月20日
A7	桑原 義行氏	平成19年2月9日
A15	松原 正氏	平成19年12月3日
A28	田中 義造氏	平成20年3月10日
E15	吉村 弘氏	平成18年4月9日
E18	紀村 龍平氏	平成18年8月
M16	軒原 栄三氏	平成19年10月22日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。